

Turning
旋盤

ものづくりの立役者、工作機械の代表選手！

代表的な工作機械として挙げられるのが、ものづくりの立役者である「旋盤」と「フライス盤」。品物や製品には、丸い物と角形の物が組み合わされたものがたくさんあります。丸い形状の物は旋盤によって作られ、角形の形状の物はフライス盤によって作られています。旋盤を使ったものづくりは「段取り(準備)」から始まり、どのような順番でどのように加工するかを考えて、準備から完成までを何度もシミュレーションし、最高の製品を作り上げていくものです。



手作業による
旋盤加工

前回大会金メダリストからメッセージ！

所属：日立工業専修学校

後藤 宙那さん

ぜひ、チャレンジして
みてほしいなと思います！

最大の見せ場は
手際よく作業すること！

選手に与えられる素材は「炭素鋼」という鉄と炭素が合わさったものです。その硬い材料を削るものを「バイト」といいます。バイトは、ダイヤモンドと同じくらいの硬さのものもあります。競技課題として取り組む内容は、「外削り」「内削り」「テーパ削り(円すい状に加工)」「ねじ切り」「溝削り」「ローレット加工(表面をギザギザにさせる)」などがあり、いかに手際よく、高精度に加工するかが最大の見せ場です！



古賀俊彦主査
職業能力開発総合大学校